

月間活動レポート

< 4 > 月分

<注①> 原本は保管し、コピーを提出してください。
 <注②> チューター活動を行っていない月は、「〇月チューター活動なし」と記載して、一枚を提出してください。
 <注③> 1人のチューターが2人の留学生を担当する場合、同日同時刻に2人に対してチューター活動時間をしないでください。

作成者(チューター)		所属・学年	氏名
		自然科学研究科 自然システム学専攻 M2	宙田 義男
対象留学生(フルネーム)		所属・学年	氏名
		自然科学研究科 自然システム学専攻 M1	金 大生
日付	活動時間(30分単位) *原則1回1時間以上2時間以内 半期45時間以内(←マニュアル必読) 例(〇:〇~〇:〇 計 〇時間)	チューターとして活動した内容・場所(具体的に)	気づいたこと、思ったこと、感想など
4月14日	15:00~17:00 (計 2時間)	新規渡日後に面談をした後、住民登録と国民健康保険の登録が必要であるが日本語に自信がないということなので、日本語の補助として金沢市役所に同行した。	住民登録には英語や中国語ができるスタッフがいたが、医療保険課は日本語対応のみだったので意思の疎通が難しいようである。
月間活動レポートは一日ごとに記入してください。2時間以上および15分単位の活動は修正対象となります。		↑ 活動内容を具体的に記入。どこ(場所)で、何について、どのように行ったのかをできるだけ詳細に記入すること。	
4月17日	12:00~14:00 (計 2時間)	インターネットWiFi設定が解らないので、履修登録がオンラインでできないとの連絡を受けたので、金沢大学構内のインターネット設定の補助を自然科学5号館にておこなった。また、その際に、どのように履修登録をオンラインで行うのかを説明した。	留学生にとって、オンライン環境がすぐに整うことは急務であるようだ。図書館のインターネットの利用も勧めたが、宿舎で自分の家族と連絡がとれるような設定がすぐに必要だと言っていた。また履修登録のオンライン設定は便覧にも英語で記載していたので、それでもわからないところを説明した。
4月18日	12:00~13:30 (計 1時間30分)	先魁の寮には電話がないそうなので、携帯電話を持ちたいが契約する際に日本語に自信がないということなので、契約の際の日本語補助として、杜の里ソフトバンクへ同行した。	日本にある店舗のほとんどは英語対応ではなく、契約などの難しい日本語は補助が必ず必要のようだ。主に店員が伝えたいことをできるだけわかりやすく英語で伝えるよう努力した。
4月26日	12:00~13:30 (計 1時間30分)	国民健康保険証と、支払の用紙が郵送で届いたのだが、日本語で書かれてありよくわからないと連絡を受け翻訳したが、支払金額が高すぎるのではないかの疑問が残ったため、金沢市役所の医療保険課に直接問い合わせた。減免申請が必要とのことなので、所定の書類記入の補助を行い、新しい払込用紙が届くことを待つなどの、具体的手続きの日本語の補助を行った。	国民健康保険の金額は、個人の収入状況や家族の有無、渡日の日付、滞在期間によって、支払金額がそれぞれ変わることを知った。日本人学生だと扶養に入っているのが全くわからなかったが、留学生はこのような仕組みについて理解するには、市役所が英語対応のできるスタッフを医療保険課にいと助かるのではないかと思った。
<p>マニュアルP. 6の記入不可例をご参考ください。 月間活動レポートの内容は、全て内容をチェックしており、不適切な内容や、指導教員がチューターの謝金活動として認めないものは、削除・修正の対象となります。</p>			

【重要】

チューターマニュアルの『チューター提出資料の手引き』に記載されている、【チューター月間活動レポート】の事項に反して作成された書類は再提出になります。必ず熟読し、注意事項を守って作成してください。